

シリーズ
ご存知ですか

熱中症対策

死者74人も出てる今年の熱中症

☆救急車が来るまでの 応急処置

重症になると死に至るおそれのある熱中症ですが、ほんの少しの注意で防げるものです。

- 家に温度計を設置しましょう！
- 室温が28℃以上になったらエアコンをつけましょう！
- のどが乾かなくてもこまめに水分補給をしましょう！
- 外出するときは帽子や日傘を使いましょう！

☆熱中症の 起きやすい条件

(環境) 高温、高温、無風、微風、日差しが強い、照り返しが強いとき。

(人体) 運動で身体に熱が生産される(当然、室内・施設内でもおきる)

※特に急に暑くなった時が要注意。閉じられた自動車内は最悪の環境です！

熱中症救急搬送 4万7418人に

消防庁は8月20日、熱中症で救急搬送された人は5月27日の集計開始から8月18日まで4万7418人と、前年同期の1.35倍に達したと発表しました。死者は74人、3週間以上の入院が必要な重傷者は1305人。65歳以上高齢者は2万2900人で全体の48.3%を占めました。又12日〜18日の一週間の搬送者数は、7135人で、全国的な猛暑に見舞われた前の週、死者は21人、重傷者は220人でした。

夏の甲子園でも

第95回夏の甲子園、準々決勝戦。常総学院と前橋育英との試合でも9回裏2点リードで迎えて、マウンドで投球練習していた常総学院のエース右腕・飯田晴海投手に異変が起こりました。右太ももの裏をつつてしまったのです。一度ベンチに下がりましたが数分後再度マウンドに戻りま

したが、今度は左太ももがつりました。両脇を抱えられて降板し、代わりの投手が出て同点とされ、延長戦となり敗れました。主催者の発表によると、ベンチで診断した医師によると熱中症の疑いと診断されました。

熱中症予防 ガイドライン

日本体育協会がまとめた「熱中症予防ガイドライン」では、気温35度以上での運動は4段階で最も重い「原則中止」。「特別の場合以外は運動は中止する。特に子供の場合には中止すべき」としています。

一つ下の「嚴重注意」です。熱中症の危険が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける」と、注意を促しています。



相談事例 (その96)

自転車走行は 交通ルールを守って

7月22日川崎区観音1丁目に住むKさんが自転車に乗っているとき向こうからサイクリング車に乗った青年が猛スピードでやってきたので自転車を降りて待機しているところに正面衝突する事故に遭いました。

臨港警察署の交通課が来て事情聴取した結果0対100で青

年が悪いと判断されました。Kさんは脇腹を手術して間もないときでありその部分に自転車のハンドルが食い込み痛みがひどくなりました。

警察官が大事をとって救急車を呼び、幸病院に運ばれ検査しました。

常識的な線で和解に

7月25日Kさんは相談センターへこれまでの経過報告と交渉のために基本的な対応を教える欲しいと相談にこられました。

自転車は「車両」です。
(車と一緒に)

従って走行時は道路交通法が適用されます。

写真



百日紅(さるすべり)
最上正男さんの作品

7月25日Kさんは相談センターへこれまでの経過報告と交渉のために基本的な対応を教える欲しいと相談にこられました。

所長は、川崎合同法律事務所へ同行して弁護士さんと相談しまし



くらしの相談センター だより

所長 宮原春夫 2013年9月 第119号

発行：くらしの相談センター
〒210-0005 川崎市川崎区東田町10-36 電話&FAX 246-6823
E-Mail h-miyahara@siren.ocn.ne.jp (HP) http://kurasino-soudan.jimdo.com/

